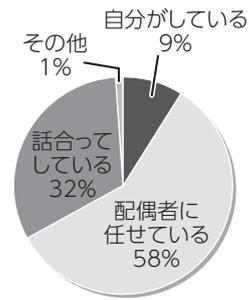


いう固定的な性的役割分担意識が感じられます。

ただ、30代男性には「話合っていて、1人が最も多くいました。」

【家計のやりくり】



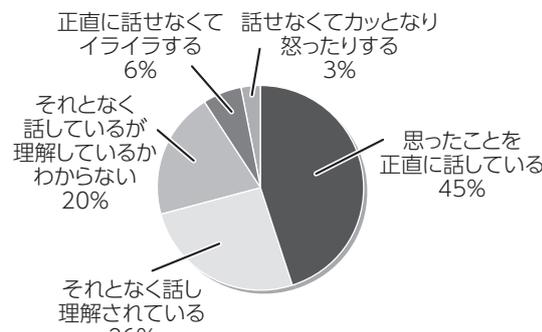
話合っているとすると、二人の間のコミュニケーションが問題です。で、自分の気持ちを正直に妻に話しているか？質問しました。

「正直に話している」と答えた男性は45%いましたが、「それとなく話している」と答えた男性も46%いました。「それとなく話している」男性のうち「配偶者に理解されている」と答えた人がやや多かったですが、「理解されているかわからない」と答えた人も多く、「話せなくてイライラする」「カッとなって怒ったりする」と答えた人も9%います。

「家庭で孤独を感じたことがありますか？」という質問では、3人に1人の男性が「感じたことがある」と答え、「今、感じている」と答えた人もいました。また、仕事のことや家庭のことなどで、愚痴を言ったり、弱音を吐いたりしたいとき、話を聞いてくれる人がいればのいいですが、いないと家庭

で違った形で爆発する可能性があります。4人に3人は「話を聞いてくれる人がいる」と答えましたが、4人に1人は「いない」と答えています。少数ですが、夫婦のコミュニケーションに問題を抱えている男性、精神的ストレスを解消できないでいる男性がいることがわかりました。

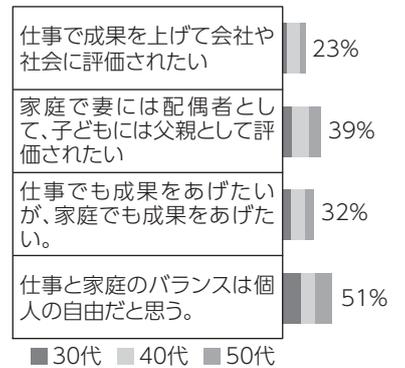
【配偶者に話していますか?】



**ワーク・ライフ・バランス**  
どう考えていますか?

最後に、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について質問しました。意見は分かれましたが、半数の男性が賛同したのは「仕事と家庭のバランスは個人の自由である」という考えでした。「仕事で成果をあげて会社や社会に評価されたい」という仕事人間の考えに賛同した男性は22%程度で、「家庭で妻や子どもに評価されたい」家庭人の考えに賛同す

【仕事と家庭のバランス】



る人（39%）よりも少なく、「仕事でも家庭でも評価されたい」という考えに賛同する男性（32%）よりも少ない結果になりました。

世代別に見ますと、賛同者が30%を超えた考えは、50代で2つ、30代で3つでしたが、40代では4つもありました。40代の男性は、それだけ家庭でも仕事でも求められることが多いのでしょうか。

男性の意識が仕事中心から家庭へ向いて来ているのは確かなようです。かつて「仕事も家庭も」と考える女性が増えたときがありました。今、男性にその考えが増えているようです。でも、力まず、自分ができる範囲でバランスをとっていこう、と考えている男性が多いようです。

というのも、「仕事中心が男の役割」という意識が根深くあるからです。それを変えれば、男女共同参画は進むのですが…。

④あなたが勝手に決めた  
⑤配偶者が勝手に決めた

Q20 あなたの家庭の家計のやりくりは、だれがしていますか？

①あなたがしている ②配偶者に任せている ③配偶者と話合っていて

Q21 あなたは、家庭で孤独を感じたことがありますか？

①感じたことがない  
②感じたことはある  
③今、感じている

Q22 あなたは配偶者に、自分の気持ちを正直に話していますか？

①思ったことは正直に話している  
②それとなく話して、理解されている  
③それとなく話しているが、理解しているかわからない  
④正直に話せなくて、イライラする  
⑤話せなくてカッとなり、怒ったりすることがある

Q23 あなたは、愚痴を言ったり、弱音を吐くことができますか？

①いる（職場の先輩、仲間、兄弟、父母など）  
②いない

Q24 あなたは、家庭の事情を話して仕事を早退したり、休んだりできますか？

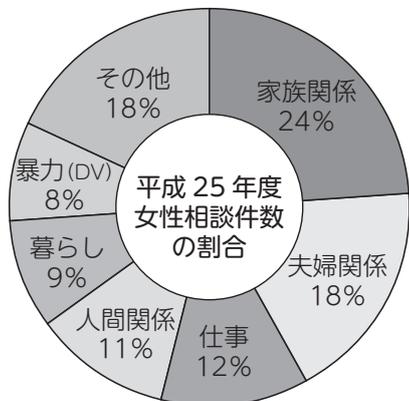
①できる ②1週間以上前に伝えればできる ③結婚式や葬式など冠婚葬祭以外はできない ④できない

Q25 あなたは、仕事と家庭について、どう考えていますか？

①仕事で成果を上げて会社や社会に評価されたい ②家庭で妻には配偶者として、子どもには父親として評価されたい ③仕事でも成果を上げたいが、家庭でも成果を上げたい ④仕事と家庭のバランスは、個人の自由だと思う ⑤その他

## 子育て・女性相談室(福祉会館2階)

の相談員が、子育ての不安や女性の悩み(生き方、職場の悩み、配偶者(恋人)からの暴力など)に応じます。



# 参画にまつわる 取り組み

な講座の開催や、子育て支援、

## 元気村ひろば 2014

小平市男女共同参画センター(愛称“ひらく”)は、市民グループの交流の場です。男女共同参画にまつわる書籍があり貸出しもおこなっています。

月26日(日)、小平元気村おがわ東で「元気村ひろば2014」が開催され、“ひらく”でもカフェや工作コーナーをつなぐ親の会による紙芝居などを企画し、参観と交流しました。きらきら人形劇団(リズム工房)に「桃太郎」も、好評でした。



## 相談する

### 《子育て相談》

月曜～土曜日(年末年始・祝日を除く)  
9:45～17:30  
電話・面接(要予約)  
☎ 042(345)2416

### 《女性相談》

月曜～土曜日(年末年始・祝日を除く)  
10:00～16:00  
電話・面接(要予約)  
☎ 042(345)2415

## 交流する

### ●男女共同参画社会とは…

男女が、対等な立場で、自分の意思によって社会のあらゆる分野に参画できる機会が確保され、政治的、経済的、社会的、及び文化的利益を平等に得られ、かつ共に責任を分かち合う社会のことです。

### ●ジェンダー／

#### 固定的性別役割分担意識とは

生物学的な性別を「セックス」というのに対して、社会的・文化的に形成された男女の違いを「ジェンダー」といいます。「男は社会で働き、女は家庭を守る」、「男は主要業務、女は補助的業務」、というように、性別を理由にして役割を固定的に考えることです。

### ●どうして「男女共同参画」の視点が必要なの？

男女共同参画社会は、男女がすべて同じことをし、負担する社会ではありません。すべての人が多様性(違い)を認め合い、人権や個性が尊重されることをめざしています。

例えば、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)。すべての人が、仕事、家庭生活、地域生活、趣味など、いろんな活動を自分の望むバランスで実現できる状態をさすもので、男女共同参画にとって重要な考え方の1つです。ワーク・ライフ・バランスのあり方は、人によって異なり、子育て期、中高年期といった人生の段階によっても異なります。

誰もが個人の選択に基づき、希望する形で自分なりのバランスを実現するには、固定的な性別役割分担に捉われず、お互いに協力しあうことが必要です。その結果、個人の負担が軽減され、自分の健康や社会との関わり、生きがいに取り組む余裕も生まれるのです。

「男女共同参画」は、みんなの生き方や暮らしに深く関係しているのです。

男女共同参画社会基本法  
暴力の防止及び被害者の

〔条例の  
パンフ〕



共同参画推進計画  
プラン21)

大人用

子ども用

《DV防止啓発講座》

— デートDVって何? —

【予告】

結婚していない恋人間や、若い世代で親密な関係にある相手からの暴力を「デートDV」といいます。

暴力のない、自分も相手も大切にできる素敵な関係を築くこと、困ったときの相談場所を知っておくことを伝えるために、今年も大学への出前講座を開催予定です。



《女性のための就労支援講座》

— 自分らしさを引き出して輝くわたしに —

【報告】

(連続3回 9月6日・20日・27日)

講師：小泉久子さん

(社会福祉士・産業カウンセラー)

結木利奈さん

(㈱インビジブルビジョンズ代表)

1日目・2日目は就職に必要な基礎知識、自分らしい働き方を見つけるコツを学びました。3日目は「自分の声を知る」ことで世界が変わる！好印象をもたれる所作を伝授。輝きたい女性11名が参加しました。



特集 2

知っていますか？ 男女共同

小平市の取

市では、男女共同参画の取組みを知ってもらう様々な相談事業などをおこなっています。

子育て支援

子ども・子育て

- ファミリー・サポート・センター
- 学童クラブ(28クラブ)
- 児童館(3館)
- 子どもひろば(6か所)
- 子育てふれあい広場
- 児童に関する手当
- 乳幼児の医療費助成
- 子ども家庭支援センター

⇒詳しくは児童課へ  
TEL 042(346)9821

保育サービス

- 保育園(市立10園・私立18園)
- 幼稚園(12園)
- 認定子ども園(3園)
- 認証保育所(10園)
- 家庭福祉員(25人)
- 一時預かり(公立1園・私立6園)
- 緊急一時保育(公立10園)
- 病児・病後児保育(2か所)

⇒詳しくは保育課へ  
TEL 042(346)9601



市の様々なサービスや施設が掲載。このガイドは小平市HPでもご覧になれます。  
<http://www.city.kodaira.tokyo.jp>

小平  
団体・  
る図書

10月  
ば20  
ナー、  
加者と  
よる「

男女共同参画の  
基本となる  
法律や計画など

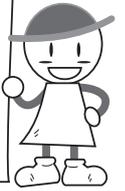
- ◆ 世界人権宣言、女子差別撤廃条約、日本国憲法、男
- ◆ 男女雇用機会均等法、DV防止法(配偶者からの暴  
保護に関する法律)
- ◆ 小平市男女共同参画推進条例、第二次小平市男女共  
(小平アクティブプ

# ひろく広場

## 原稿をお寄せください

ひろくの記事や表紙の感想、その他なんでもOKです。原稿(500字以内)には〒、住所、氏名(ふりがな、原稿掲載は匿名・イニシャル可)、年齢も書いてください。採用された原稿は文意を変えずに短くする場合があります。

あて先/小平市小川町二丁目1333番地  
小平市次世代育成部青少年男女平等課  
「ひろく広場」係 FAX 042-346-9200  
byodo@city.kodaira.lg.jp



ひろく編集室はあなたにひらいています。

## 私のワーク・ライフ・バランス

「ひろく」34号の特集を読んで、自分のワーク・ライフ・バランスについて考えてみた。「仕事と仕事以外の生活との調和」のことをそう呼ぶらしい。現在専業主婦、つまり無職の私にはあまり関係がなかったか？

しかし、昔からの友人達は気づけば皆、仕事をしている。近い時期に結婚し、子ども達も皆同級生だが、専業主婦を選んだのは私だけ。育児も明け、仕事と育児に追われる彼女達に会えるのは半年に1回程度になってしまい、話題も仕事や保育園の事が中心に。どちらにも関わっていない私は話が合わず、疎外感すら感じるようになってしまった。そのような状況に落ち込んだ時期

もあつたが、何とか脱却しようと思ふ民館の子育て講座を受講。それが転機となり、サークル活動を開始。多くの仲間ができ、人脈も広がっていった。今や「疎外感」や専業主婦独特の「後ろめたさ」を感じる暇もない程、充実した日々を送れている。そもそも私はなぜ専業主婦を選んだのか？自分の母親がフルタイムで働いていてずっと寂しい思いをしていた事と、外で働くよりも専業主婦の方が性に合っていた、という2つが思い当たった。そういえば小学生の頃に母から「大きくなったら何になりたい？」と聞かれて「専業主婦になりたい」と答えた事があつた。なんだ、私は当時の夢を既に実現していたんじゃないか。

来年には息子が入園、自分の時間が今よりも持てるようになる。すでに夢を1つ実現していた私は、新たな夢を抱くだろうか。改めて「ワーク・ライフ・バランス」について考えるいい機会かもしれない。(M.T)

## 小さな思い出

～レマン湖のほとり～ジュネーブ

仕事のついでにヨーロッパ一旅：仕上げにたどりついたホテルはレマン湖の最西端、モンブラン橋のすぐそばで道ひとつへだてたところにルソー島というのがありました。ト

ロトロと細い道を降りていくと小さな石碑があり、なにやら音符が刻まれています。



確か、四小節位の短いものであつたと記憶していますが、口の中でそつと音を出してみると…あれー!!どこかで聞いたことがあるぞー。

まさか!!「ミミレドド・レレミレド」誰もが一度や二度は唄ったことがある童謡「結んでひらいて」だぞ!!

そう言えばジャン・ジャック・ルソーがジュネーブ生れで作曲もしたこともあるという話は知っていたけれど…と言うわけで私の思い出の小箱はこの度初めて「ひろく」ことができました。

ちなみに、「結んでひらいて」の歌詞で登場したのは、昭和二十二年戦後初の音楽の教科書だそうです。(オクターブ)



## いちど来てみませんか?

小平市男女共同参画センター



(愛称)

## 小平市男女共同参画センター

〒187-0031 小平市小川東町4-2-1  
小平元気村おがわ東 2階

042-348-2112 (青少年センター兼用)

西武拝島線・西武多摩湖線 萩山駅南口より徒歩5分  
※駐車場に限りがありますので、車での来館はご遠慮ください

- 開館時間 午前9時～午後10時
- 休館日 火曜日・年末年始・奇数月の第2日曜日
- 利用対象者 利用登録団体・個人
- 問合せ先 次世代育成部青少年男女平等課  
042-346-9618

